JAPAN SOCIETY FOR THE PROMOTION OF SCIENCE
日本学術振興会

大学院生・若手研究者向け
海外渡航プログラムの紹介

JSPS ボン研究連絡センター

https://www.jsps-bonn.de/ja/home/jsps-bonn-office

ドイツ研究フェア

2023年4月27日

大学院生・若手研究者向け
海外派遣プログラム

1. 海外特別研究員

https://www.jsps.go.jp/j-ab/ab_sin.html

2. 海外特別研究員 – RRA (Restart Research Abroad)

https://www.jsps.go.jp/j-ab/rra_sin.html

3. 特別研究員 – CPD (Cross-border Postdoctoral Fellowship)

https://www.jsps.go.jp/j-pd/cpd_gaiyo.html

4. 若手研究者海外挑戦プログラム

https://www.jsps.go.jp/j-abc/boshu.html

1. 海外特別研究員

若手研究者が海外の大学などで長期間の研究に従事

申請資格

- 日本の大学などに所属する研究者や、研究者を志望する人
  （常勤・非常勤の別や任期の有無を問わない）
- 日本国籍の者、または日本に永住を許可されている外国人
- 翌年の4月1日現在、博士の学位取得後5年未満
- 翌年の4月1日現在、大学などの任期無し常勤研究職歴が通算5年未満

※申請時にすでに海外に渡航している場合でも、申請が可能です。
（ただし、採用時に渡航済である場合は往路の航空賃は支給されません）

派遣期間：2年間

1. 海外特別研究員

支給経費

- 往復航空賃
- 滞在費・研究活動費
  年額約450万円から750万円
  （派遣都市・国によって異なる）

採用数

- 約130名（うち、ドイツには毎年20名程度）

今年の応募〆切（各機関から学振への提出期限）

- 5月15日 17:00

2. 海外特別研究員-RRA
(Restart Research Abroad)

- ライフイベントによる研究中断後の渡航を支援
- 帯同する子供の航空賃や手当を支給

申請資格（海外特別研究員の資格に追加・変更となる項目）

- 以下のいずれかによる研究中断等の期間が通算90日以上ある場合（年齢及び性別は問わない）
  - 申請者本人または配偶者の出産または育児
  - 家族の看護または介護
  - 結婚に伴う転居による辞職（辞職時の職が常勤職の場合に限る）
- 博士の学位取得後10年未満

支給経費（海外特別研究員の支給経費に追加されるもの）

- 帯同する子の往復航空賃
- 子供手当（帯同する子一人につき滞在費・研究活動費の10%相当）

採用数：約5名

3. 特別研究員-CPD

（国際競争力強化研究員）

(Cross-border Postdoctoral Fellowship)

特別研究員が海外の大学など研究機関で長期間研究に専念できるよう支援

※まず、特別研究員-PDへの申請・採用が必要

申請資格：特別研究員-PDの新規採用者

派遣期間：任期中（PD着任から5年）の3年以上を海外で

支給経費：44.6万円/月（予定）＋ 往復航空賃

研究費：特別研究員奨励費

採用数：毎年十数名（実績）

今年の応募〆切：6月22日 17:00（各機関から学振への提出期限、2023年度新規採用者が対象）

【参考】2024年度特別研究員-PDの応募〆切：6月7日 17:00（各機関から学振への提出期限）

4. 若手研究者海外挑戦プログラム

博士後期課程学生が3か月から1年程度海外で共同研究に従事

申請資格

- 日本の大学院博士後期課程在籍者（見込みも可）
- 日本国籍の者、または日本に永住を許可されている外国人
- **連続して３か月以上、研究のために海外に滞在した経験がない者**

派遣期間：3か月から1年

支給経費

- 往復航空賃
- 滞在費　100万から140万円（派遣国による）
- 研究活動費（20万円以下）

来年度（2024年度派遣）分の応募〆切（例年どおりの場合）：

第１回：9月頃、第２回：４月頃（各機関から学振への提出期限、いずれも7月頃募集情報公開）

採用数：約140名/年

（上述は2023年度募集時の情報のため、2024年度公募時には変更となる場合があります）